

会 議 録 （会議経過含む）

会 議 の 名 称	平成２２年度第１回由利地域協議会
開 催 日 時	平成２２年５月１１日（火） 午後３時～
開 催 場 所	西滝沢水辺プラザ 地域交流施設 「多目的ホール」
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
会 議 次 第 １．開 会 午後３時～ （進行：三浦課長） 企画調整部長より２２年度から新たに委員となられた「工藤健一委員」に委嘱状の交付。 ２．会長あいさつ 今日は春作業の大変お忙しい中をご出席頂きました大変ありがとうございます。特に今日は不幸も重なったということで副会長の徳山さんほか欠席ということでございますがやむを得ない事情ですのでご了解頂きたいと思います。 いよいよ春作業も本番ということですが、同時に行政の方も事業に入ったり、様々な計画の本格的始動に入った時期にもなっております。本協議会は２期目に入っているわけですが、一期四年間の様々な活動というのはどうだったのだろうか？それから新聞などでも他の地域の協議会、あるいは市議会等の反省も見えますが、やはりそういう反省といいますか総括をもって新しい年に入らないといけない、心を新たにしなければならないのが我々協議会の委員の役割ではないかと思います。 特に財政の問題については２３年の時期に２６・２７年になるかもしれないというような行き方で通常の財政に戻るといような、そういう目標のもとに総合発展計画の計画通りに進んでいるだろうと思います。合併にあたり職員数の減などを約束しながら合併したわけで、これもまた職員の計画通りに減員が進んでいるように感じています。そういうようなことなど計画通りに順調に進んでいるようなところもありますが、しかし、合併当初と比べますと昨年一昨年の計画の見直しではかなりの事業が先送りされたように記憶しておりますが、これなどもできれば計画を早めるなり最低でも計画通りの実施にこぎ着けて頂かなければとこのようにも思います。なにせ、各集落の要望もかなり多いし毎年のことながら集落要望をとっている訳ですが、要望の完全実施というのはなかなか難しいと思います。そういうようなことも反省しながら今後の協議会のあり方がどうあるべきかを真剣に考えていきたいと思います。 特に、今年の市長の施政方針の資料を見ますとなかなか合併効果、そういうものの実感がまだ薄いんだというようなことから、支所管内いわゆる協議会が担当する各旧市町の活性化をさせるための手立てとしまして、修繕費の増額やら地域づくり事業を新たに作りまして、こういうもので活性化を図るということ。尚また、定住自立圏構想これは五年間の事業でございますが、合計４８１４万という計画のようでございます。こういうようなこととあわせまして地域公共交通総合連携計画なるものを計画しまして、特に我々の地域ではこの件につきましては沿線以外の遠隔の地域からの交通については特にスクールバスを一般の住民でも利用できるような方策があげられないか、そういう課題も載っておりますし今後に期待したいものだと思います。いずれこの地域の活性化のために我々委嘱されているものですから特段のご努力とご協力をお願いしながら地域協議会をますます活性化できますようお願いを申し上げます一言あいさつと致します。	

3. 由利本荘市小松企画調整部長あいさつ

地域協議会の皆さんには由利本荘市政の発展のために日頃から特段のご指導頂いていることに対しまして厚く御礼申し上げます。特に由利地域の活性化、地域づくりに関し今年度、先ほどの会長さんの話にもありましたとおり地域づくり推進事業という事業を創設したわけではありますが、昨年度からいろいろとご丁寧にとりまとめご提言等ご尽力頂いたことに対しまして改めて御礼を申し上げたいと思います。

経済・雇用状況の非常に厳しい中ではございますが、平成22年度の一般会計予算としては前年度と比較しまして8.1%の増となります473億8千万円というものを議会に承認頂きまして、4月からスタートした訳でございます。

予算編成にあたりましては、公債費適正化計画というものが策定されておりますのでそれを遵守しながら、これまた先ほど会長さんのあいさつの中にもありました総合発展計画の予定事業の予算化をしながら新たに定住自立圏構想に基づきます推進事業を本年度から始める、さらに地域枠の創設、いわゆる地域づくり推進事業の関係であります。そして、これまでありました緊急的な修繕に使えるという風な500万円の地域枠を700万円に、合わせまして1,000万円の地域枠をもって今年度あたるというふうな予算とさせて頂きました。

そのほか緊急雇用や住宅リフォームの資金助成事業、太陽光発電の支援、環境問題への取り組み、さらには福祉医療対象年齢の拡大、等々の少子化対策や健康福祉の充実、さらに個人住宅の耐震診断の助成等々地域経済の活性化、住民の安全安心を考えた新規のソフト事業を積極的に予算化したところであります。

何はともあれ、市全体の元気が出るということとはとりわけ地域の元気がなければ、市全体の元気にはつながらないと認識しております。そういう意味も持ちまして地域協議会の委員の皆さま方にはこの由利地域の活性化ひいては由利本荘市の活性化のために今後とも何卒お力添えご指導頂けますようよろしくお願い致します。

一言お礼とお願いにごあいさつさせて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

4. 会長報告

資料－1により、各種会議への出席状況について説明。（佐藤千秋会長）

5. 行政報告

行政報告に入る前に4月1日付の人事異動もあったため出席している職員を支所長より紹介。

資料－2により、5月10日までの由利地域の行事等を報告。（由利総合支所 三浦支所長）

資料－3により、各課の平成22年度主要事業を説明。（由利総合支所内 各課長）

（A委員）

振興課の主要事業の「行政協力員事業」と「住民自治活動支援交付事業」の違いは何か？

（振興課 佐藤主査）

行政協力員事業は総代さんの手当の分でございます。住民自治活動支援ということで、対象となる事業を行う集落の申請が必要でして、例えば敬老会、運動会などを集落で実施した場合に交付されるものとなります。

（B委員）

高嶺大学はこの資料のどの部分に入っているのか？

（伊藤課教育学習長）

この資料は主要事業をピックアップしているので、予算としては計上されているが、資料には含まれていません。

（C委員）

市民福祉課の敬老会開催事業について、今年度も前年度同様の形態での開催を予定しているか？由利の場合は座卓で、婦人会の方が座布団を持ってきて開催しているが、イスと机で実施しているところもあると伺っている。お年寄りの場合、座布団に座って長時間いることが苦痛のようだ。いずれ机はリースでやっているのだから、他の方々からの意見を聞いて検討してみてはどうか？

（鈴木市民福祉課長）

今年度は前年度同様の内容で予算要求しているため、来年度に向けて参考にさせて頂いて、他の地区の状況も見ながら前向きに検討していきたいと思います。

各集落からの意向も聞きながら総代会などにも聞きながら検討したい。

（三浦支所長）

敬老会の意見について、今まで考えたことがなかったが、お年寄りには座卓で座布団に座るのが楽なのかなという思いもあったが、今木内委員から意見を踏まえ、いろんな方の意見を聞き、または参加者の意見を聞き、座布団を運ぶのがどうこうではなく、参加者の方々が集いやすい、あるいは楽な私たちにもっていきなと考えておりますので、今の状態でいいものかいろいろご意見などを聞いて検討させて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

（Ｄ委員）

市有林管理事業について、分収林もはいるのか？どこあたりを実施する計画なのか？

道路維持事業について、神町の自分（相田委員）の前の道路を以前から集落要望でお願いしていたがあるが今年度の計画にあがっているのか？

（佐藤産業課長）

収林管理事業の枝打ちについてですが、集落の分収林であっても市で管理している山に関して、施行計画を作成して事業を行っております。ことしの枝打ち２２．６５haのうち、南由利原が２０．３１ha、東由利原が２．３４haの計画となっております。

（庄司建設課長）

緊急的な修繕をするための地域枠などを活用して実施していきたい。

（佐藤千秋会長）

土地改良区の新堤の調査設計をしたと思うが２２年度から工事が始まるという説明だったが、この主要事業資料にはないが、予算が本庁にあるのかどうか説明をお願いします。

（佐藤産業課長）

受益者負担１０％のうち５％を補助するという事業ですが、本庁の方の予算に計上されているため資料にはあがりません。

（Ｅ委員）

由利郵便局から善隣館手前の十字路まで、雪の多い日に除雪が間に合わず小学生が歩道を歩いて登校していたことがあったと話をされたことがあった。登校時間に間に合うように除雪をお願いしたい。

（庄司建設課長）

歩道の除雪については、登下校時間に間に合わせて除雪するようにしますのでよろしくお願いします。

（Ｆ委員）

教育学習課の小学校・中学校のパソコン購入費について今はパソコンが安いのでリースでなく購入で対応できないものか？

（伊藤教育学習課長）

資料の事業費には保守点検料も含まれているのでリース料のみではないです。

議事録署名人を、二見美代子委員、佐藤イネ子委員に指名。

地域づくり推進事業の具体的な計画や進捗状況について提案者から説明。

(振興課 佐藤主査)

資料の4をご覧ください。大きいA3のものもお配りしております。1番から16番まで事業が記載されております。これは会長からも話しがありましたけども、前回、前々回の協議会の方で確定した内容となっております。事前に皆さんの方に地域づくり推進事業補助金交付要綱の案をお配りしております。今22年度は5月に入りまして実際1番から16番の事業のなかでも動いている事業もあるようです。この事業について補助金の交付申請を行わないといけないということになりました。申請はこちらで作成するのではなく、提案されたもしくは事業主体の方で申請してほしいという考えでおりますのでよろしくお願いします。前回の協議会で事業の概要については説明等ありまして話を聞いておりますけども実際に何月頃にこうゆう事業をやるとゆうふうなものについて、まだちょっとわからない点もあると思うので1番からわかる範囲で結構ですのでご説明いただければと思いますのでよろしくお願いします。

(佐藤千秋会長)

それでは、私が提案した5番の文化財保護管理支援事業について説明します。今現在文化財保護協会の会長と協議しながら、業者が秋田市に2つか3つ専門の業者があるようでそちらに連絡を取りながら5月中には見積りというか設計というかそういうものを揃えたいというような状況でございます。特に見積り依頼書をだしたとかそういうことはまだしていませんが、文化財保護協会の会長と協議している段階です。

(F委員)

案内標柱の材質はステンレスですか？

(佐藤千秋会長)

鉄製、ステンレス製、もちろん木造もあるようでどれを選ぶかについて秋田の最低2つの業者には資料を取り寄せてやろうと会長と話をしています。それから、設置場所については、国道の側と、市道の2箇所と話をしています。

(G委員)

1番のおばこ号前郷駅舎活用交流事業について商工会女性部の方から説明させていただきます。資料にありますように前郷地区の空洞化防止というのが第1の目的です。我々が単独でやることも考えましたが、前郷駅愛好会というのもありますし、高原鉄道と連携してイベントがあるときに参加して交流したいというふうにも考えていますが、具体的にはまだ考えていません。

(H委員)

2番の地域づくり事業については、交流施設がオープンしまして水辺協議会の方でさくらまつり、5月5日はこどもの日イベントとして稚魚放流と魚の掴み取りをやることができました。たくさん子どもたちが由利地域だけでなく来てくださって楽しく開催することができました。具体的な日程等は決めていませんが、月に一度はこうゆうような地域の方々に多く利用して頂ける場としてイベントを実施していきたいと意向を女性部としては話をしています。笹巻き作り、「このはまま」といわれていますが田植え時期に作るようなご飯を作って食べたりとかさうゆうのもいいかなと話があがっています。あとは夏まつり・秋まつり、季節に応じたイベントを開催して行きたいと思います。また、先日つりをする方がここで全国大会をしたいという話があがっているということで、さうゆう方達にも利用して頂ける場として考えていければなと話をしています。

今度役員会も開催されますのでそちらの方でも話し合って頂ければと思います。

(B委員)

3番の心の健康づくり活動支援事業についてですが、本日詳細の資料を持ってきていませんので概略だけご説明します。

この由利地域心の健康づくりを考える会「ホットハート由利」は主に自殺防止の活動をしている団体です。平成15年に結成しまして、当時20人の会員でございましたが、現在13名しかおりません。秋田県は14年連続して自殺率日本一という状況です。その中でも特に由利町が多く当時の福祉課が対策を講じたがなかなか行政だけではうまくいかないということでこの団体を結成した。

紙芝居や、講演会などの活動を計画している。

次に4番の環境美化活動についてですが、由利花木会というのは平成元年に結成された団体で、前郷のグループホームのところの花壇を中心に花を植えようと考えている。

(振興課 佐藤弘幸主査)

10番の森子大物忌神社駐車場整備事業についてですが、森子総代の多田厚さんが相談に来ています。これから実施する事業ですが、駐車場の整備をするのですが、自分たちで人夫をだして原材料というかたちで、砂利を敷いて側溝を入れるという風な事業を行いたいということで来ております。まだ正式な見積等は来ておりませんが、50万円くらいの事業費で実施できればということでした。これから実際に動いてやるという予定であります。

次、6番の番楽交流会ですが、夏に向けて他地域との交流会があると聞いております。交流会について申請書を出して頂きたいと話しています。

それから、7番の第2回全国廃校サミットですけれども、これにつきましては、資料2の方で支所長より話がありましたが廃校サミットを無事に終了しております。事務局の方から申請したいと来ております。4月24・25日に開催済みです。

次8番の由利中同窓会東京支部総会参加事業についてですが、中学校同窓会の方から提案されておまして、例年バスで由利地域の方を乗せて行っていたのですが、ここ3年くらいバスで行っていないため、地域住民が参加しやすいようにして大勢乗っていきたいということでした。東京支部の総会は11月の下旬に予定されておまして、それに向けて申請書類等あげて頂きたいと伝えております。

9番の由利原の豊かな自然を大切にの事業ですが、これにつきましては、事業費がかなり大きい事業ですが、提案者が本日欠席しておりますけれども、資料にあるように、由利原に豊かな自然があるので、これをよみがえらせ環境美化につとめるとかコスモスを植えたいという内容で事業申請したいということでもあります。

11番の西滝沢水辺プラザさくらまつり推進事業ですが、これも4月17日にオープンした水辺プラザの竣工式と桜まつりのオープニングイベントを併せたかたちの事業ですが、これも申請書類が決裁中の状態であります。

12番の旧鮎川小学校校舎利活用推進事業ですが、7番・11番と同様に現在申請書類等作成中であります。

13番のゆりの里特産品推進協議会への補助ですが、これにつきましては、主にゆりちゃんの推奨する包装紙を作成するという内容で、事務局は商工会となっています。

14番の道路等環境整備事業は地域団体ということで建設課を通してあがってきた事業であります。集落間の市道の環境整備等の事業に10万円の支援をしたいということでもあります。

15番の由利高原鉄道利用促進事業ということで、開業25周年事業の方に15万程度、16番の各駅愛好会助成事業については、おばこ号の利用促進と各駅愛好会への助成ということでもあります。

7. その他

(佐藤千秋会長)

資料の中に由利地域の課題という紙があると思いますが、これは自主活動ということになるかと思いますが、由利地域の課題について皆さんが考えているようなことを次の協議会までに事務局に提

出して頂きたい。なんでも結構でございますので皆さんの考えていることを出して頂きたい。

(F委員)

予定では次回の協議会はいつごろになりますか？

(佐藤千秋会長)

7月・8月こととなるかと思いますので、由利地域の課題については6月末まで提出願います。

あと、みなさん了解していただきたいと思ってる件が一つあります。水辺プラザの向かいの旧長瀬建設の建物についてであります。この間風の強い日に国道へ資材が飛んでいったりして危なかったと私に話をしてきた方がいました。なんとかならないかということでしたが、由利地域協議会として市のほうへ債権者の方へ改善のお願いをしてほしいという要望を出したいと思うのですがいかがなものでしょうか？危ないのが建物の陰に農道があるのですが、二階からのガラス窓が落ちてきて危なかったということもあったそうです。

(A委員)

協議会の提案ではなく、奉行免集落から実情を市の方に要望した方がいいのではないかと？

(C委員)

地域協議会の役張りは市長から諮問があったことに對し我々が検討して答申するというのが大前提だから地域の要望を市にあげてやるというのは目的と違うのではないのでしょうか？集落総代さんが市に要望をだして市当局で対応してもらおうというものではないのでしょうか？困り事を相談する会になってしまうのでは？

(佐藤千秋会長)

諮問されたものに答申というのが目的なのはその通りではありますが、地域の要望そういうものを含めたものを今の市長はあげてほしいと、むしろ出して頂きたいと市長は言っていました。

(C委員)

地域要望を吸い上げて市にあげてやって検討頂くという役割をもった協議会であってほしいと思っていたら、地域協議会にはそういう役割はないと言われたことがあったので…

(佐藤千秋会長)

以前も要望書を出したことがあった。由利地域だけではなく旧本荘もだしている。私は諮問されたものだけとは初めから考えていませんでした。いずれ住民の意向を地域協議会でという考えで…

(C委員)

初めは地域協議会ではそう考えていたが、それを受ける行政側がそう思っていなかったようだったが、今はそうなったのであればいい方向に変わったと言うことですね。

(小松企画調整部長)

地域協議会の権限についてですが、木内委員からご説明があったとおりでございます。諮問に対する答申。それからもう一つは意見を述べることができるという項目もひとつあります。それについて要望・意見書を出してもらっている経緯もあります。ですからその協議会そのものはその地域の合併化の事務比較等々についての意見集約は前に出してもらったようなかたちでいいかと思いますが、ただいまの話であるような部分について、いわゆる困り事について、地域協議会の要望というかたちで要望書をあげるまでにはちょっと馴染まないのかなというふうな思いは私どもはしているところです。基本的には市政の振興のための諸計画あるいは議案について諮問されたものについて答申する、二つ目が地域の振興発展のために重要な議案については意見を出すことができる、そして最後は様々な基本的計画等変更する場合に意見を聞かなければいけない、こうゆう3つの権限を定めていると思いますのでその線はずれてはならないのかなというふうな思いであります。ですから、協議会からこうゆう意見がでたのであれば、それをうけて総合支所で関係機関に働きかけるということでもいいと思います。

(佐藤千秋会長)

そうすれば、この協議会でこうゆう意見が出たということで、三浦支所長に對応いただくということ

とでよろしいでしょうか？

（三浦支所長）

財産を管理している人の方にお話をしていきたいと思います。

（E委員）

地域協議会員として地域住民から要望が来る。町議会から市議会という組織になったときに自分の声が伝わっているのかというような不安があるようだ。

最後に事務局から地域づくり推進事業の申請方法について説明。

（三浦支所長）

このたび4月1日異動で総合支所長ということでどうぞよろしくお願いいたします。それで、由利地域の課題についてですがいろいろご要望なり思っていることを出して頂く、これが基本ではないかと考えております。そして、当然全部記録しております。それで記録を後で各課長が読んでこれは支所でもいいのか、これは本庁に行くのかということで今まで来ていますのでどうか忌憚のないご意見を出して頂ければと思います。本日は長時間にわたりまして慎重なご協議を頂きました。この後22年度は2回、3回、4回とまだ協議会が開催される予定であります。委員の皆様にはご多忙のこととは存じますが由利地域のために尽力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

8. 閉会

終了 午後5時20分

会議の資料 | 別紙のとおり

◆出席者名

会 長	佐 藤 千 秋	企画調整部長	小 松 慶 悦
委 員	佐 藤 金 市	由利総合支所長	三 浦 貞 一
委 員	相 田 勝 弘	企画調整部地域振興課長	榊 豊 昭
委 員	工 藤 健 一	振興課長	三 浦 清 久
委 員	尾留川朋四郎	市民福祉課長	鈴 木 甚 悦
委 員	橘 明 子	産業課長	佐 藤 淳 一
委 員	二見美代子	建設課長	庄 司 昭 一
委 員	佐 藤 イ ネ 子	教育学習課長	伊 藤 康 勝
委 員	木 内 進	振興課主査	佐 藤 弘 幸
委 員	伊 藤 正 弘	振興課主任	鈴 木 顕
委 員	木 内 芳 一		